

梅雨に入り、天気の良い日も続きましたが、そんな中でも子どもたちは楽しいことを見つけて、夢中になって遊んでいます。何気ない疑問や不思議に思ったことから興味をもち、自分たちで調べたり「〇〇博士（専門家）」に聞いてみたりすることでさらに好奇心や知識が広がっていきます。

6月のできごと…

海は楽しいだけじゃない…

今年初めの海遊び。貝を探したり、波打ち際に座ったり寝そべったりしながら波を待ったり、砂山作ったり、自分の足を砂に埋めたりと思い思いに海での遊びを楽しみました。

海遊びを終えた後は津波訓練。「もし津波が来たら…」を想定し、熱川館前からしおかぜ広場まで駆け上がりました。急な坂道では、途中から苦しくなり涙が出て、「自分の命は自分で守る！」と頑張っている姿が見られました。広場の入り口まで着くと「もう大丈夫？」と安心しホッとした顔が見られました。先日も津波注意報が発表されるなど、いつ何が起るかわかりません。これから海に行く機会も多くなると思いますが、家族でこんなときどうする？と話し合ってくださいね。



かえるさ～ん元気でお～

オタマジャクシがカエルになると「何を食えるのかな」「どんなカエル（何ガエル）になるのかな」と次から次に興味が広がり図鑑で調べたり、成長をする様子を観察したりしながら飼育してきました。



“カエルは生きた虫を食べる”ことがわかったと、小さな虫探しの始まり！「ごめんね」と言いながら捕まえた虫をケースに入れていましたが、しばらくすると、「どうして食べないんだろう？」「お腹空いてないのかな？」と餌を食べないカエルを心配する声が聞こえて

きました。「ご飯食べられないなら逃がしてあげようよ」と生まれた池に返してあげようという子や「…でも、もっと一緒にいたいな」と言う子もいました。子どもたちで話し合い、「池で餌（虫）をいっぱい食べて元気になってもらう」ことで皆が納得し、池に逃がしてあげることになりました。愛情をもって飼育してきたカエルたちをそぉ～と池に放すと、別れを惜しむようにカエルが子どもたちの近くまで戻り、しばらくして水の中に潜っていきました。幼稚園では、いろいろな虫や小さな生き物との出会いが多く、触れたり、観察したり、飼育する機会もたくさんあります。初めは触ることができなかった子も「可愛くなってきた」「昨日より大きくなっている」と、興味や関心が広がりどんどん身近で大切な存在になっていきます。



今回のカエルの飼育を通して、興味や関心をもったことを自分たちで調べたり、世話に必要な物を準備したりする中で、いのちと向き合うことは「かわいい」という気持ちだけでは続けられないことを知り、最後まで責任をもって関わることの大切さを学ぶ機会となりました。

また、家族との会話の中で「生きている小さい虫を集めている」と聞いたお父さんが、コバエの集め方を丁寧にアドバイスをしてくれた時には「なるほど！」と先生たちも目からうろこでした。そして、子どもたちのワクワクが先生たちにも広がり「カエルの餌って…」「ネットで調べたら〇〇も食べるらしいよ」「（餌が）生きてるように揺らせば食べるみたい」など、子どもだけでなく大人の探求心も深まっています。（笑）



◇こんなこともありました…

“カエルはほうれん草を食べる”ことがわかったその日の給食のおかずに、ほうれん草ができました！食器ではなく“カップ”を持って「ほうれん草をください」ときた子どもたち。食器が違う理由を聞いてみると「自分」ではなく「カエル」のためのお替りだったのです。そして、子どもたちは嬉しそうに飼育ケースに入れていました。（美味しい給食だから食べると思ったのかな…）

優しいお兄さん・お姉さん

稲取・熱川の両中学生が来園し、保育実習を行いました。いつもしている遊びに誘ったり、中学生が作った手作りおもちゃで遊んだり楽しい時間を過ごしました。



ぬるぬる、ふわふわ…気持ちいい

園庭の土山がカチコチになってしまったのでヤスタ園さんが土を持ってきてくれました。ありがとうございました。



子どもたちは大きな土山に大興奮！足を埋めたり、水を流したり、泥だんごを作る子もできました。年長さんの作った泥だんごに興味をもった年少さんが壊さないようにそ～っと持ってみるとずっしり！すぐに「やってみよう！！」と真似して作り始めました。

以前よりも、フワフワ、ヌルヌル、ベチョベチョ…様々な感触の気持ち良さや面白さを、楽しんでいます。



お野菜、だぁ～い好き



きゅうり、なす、ピーマン、トマト。毎朝、「大きくなあれ」と水やりをし、お世話をしてきた夏野菜の収穫が始まりました。給食になり、調理をして食べる機会は少なくなりましたが、とれたてのキュウリは格別！お皿がすぐに空になるくらい大好物になっています。

じゃが芋の収穫も行いました。土の中から次々に出てくるじゃが芋に大興奮の子どもたち。モグラになったつもりで土を掘っていました。そして、掘ったじゃが芋は、茹でてすぐに美味しくいただきました。

